

未来へつなぐ友好の絆

第24回松浦市青少年親善使節団

8月4日から11日までの8日間、「松浦市青少年親善使節団」が姉妹都市であるオーストラリアのマックアイ市を訪問しました。
訪問したのは中高生14人と引率者2人。滞在中は、ホームステイや学校訪問などとおしてマックアイ市民との交流を深めました。



▲植物園にある市章を模した植栽



▲石炭輸出専用港ヘイポイント港



▲みんなで美術館を見学

青少年親善使節団の ひふいび感想

末竹 真紀（松浦高校1年）

最初は、早く帰りたいと思っていたけど、しばらくすると、まだマックアイで生活していたいと思うようになりました。

萩原 和歩（清峰高校2年）

このホームステイを通して、他言語を話す人とコミュニケーションをとる時に最も必要なことは、相手に伝えようとする姿勢だと思いました。

前田 茜（九州文化学園高校3年）

オーストラリアに行って学んだ事は、表現の大切さです。なぜなら、言葉がなくても表情やジェスチャーなどで意思疎通ができたからです。そして、楽しい時は笑顔でいるようにしました。

吉田 康陽（伊万里高校1年）

今回の交流は、自分にとって、とても大きな経験で、これから英語を勉強する大きなきっかけとなりました。

加椎 望弥（御厨中学校3年）

初めは、緊張と不安でいっぱいだったけど、最後にはすっかり楽しかったと考える7日間でした。ホストファミリーが優しく接してくれた、とても嬉しかったです。

中嶋 理子（御厨中学校3年）

一番印象に残っていることは、小学校訪問で小学生と一緒に鬼ごっこをしたことです。たくさん笑えたり、交流もできたので嬉しかったです。

藤崎 凜寧（御厨中学校3年）

この交流を通して、松浦ではできない経験がたくさんできました。本当に楽しかったし、自分が成長できたと思います。これからもマックアイ

マックアイ市との 交流のあゆみ

マックアイ市は、オーストラリアのクイーンズランド州の北東部に位置しています。

交流のきっかけは石炭。松浦市には国内でも有数の規模をほこる石炭火力発電所があり、発電所では海外から輸入した石炭を使って電気をつくっています。この石炭の多くが、当時マックアイ市の近郊の港（現在はマックアイ市内）から運び出されたこと、当時のマックアイ市と松浦市の人口が同規模だったこと、また両市とも海岸線に位置するなど地理的条件が似ていたことから、平成元年に姉妹都市となり、交流が始まりました。





①市役所前で市長と
②ノースマッカイ小学校
③マッカイのビーチで

との交流を止めないでほしい、私も協力していきたいです。

岡 彩音 (志佐中学校3年)

マッカイ市訪問で、家族の大切さ、異国間のコミュニケーションの大きさ、伝わった時の喜びなどたくさん、この夏は僕にとつて、貴重なものとなり、忘れられないと思います。将来に生かしていきたいです。

百武 歩 (志佐中学校3年)

ホストファミリーと過ごした週末は想像していた以上に楽しく、良い思い出になりました。もっと英語を勉強して、またホストファミリーに会いに行きたいです。

山本 謡子 (志佐中学校3年)

マッカイ市には、「松浦通り」があったり、松浦市からの贈り物が飾られていたりして、マッカイ市と松浦市の姉妹都市関係を強く感じました。

中山 徹 (調川中学校2年)

マッカイ市訪問で、僕はたくさんの思い出を作ることができ、「チャレンジしてみる」という大事なことも学ぶことができました。また機会があれば、マッカイ市に行きたいです。

村尾 日向 (志佐中学校2年)

英語がわからない人でもわかりやすく使えるように、皆ジエスチャーを使っていました。

林 太陽 (調川中学校3年)

この1週間でオーストラリアやマッカイ市のことについて、少し知ることができました。

松本 颯真 (調川中学校3年)

マッカイ市訪問で、僕はたくさんの思い出を作ることができ、「チャレンジしてみる」という大事なことも学ぶことができました。また機会があれば、マッカイ市に行きたいです。

お世話になりました!



⑦小学校での1コマ
⑧小学校での交流
⑨プッシュダンスパーティー
⑩ビル・モロイさんのためにみんなで折った千羽鶴
⑪日本語スピーチコンテストを見学



▲マッカイ空港で市長と



マッカイ市との交流は、松浦市国際親善協会を中心に市民主体となって推進されています。今回の松浦市青少年親善使節団や松浦市民親善使節団の派遣、また、マッカイ市青少年使節団、マッカイ市親善訪問団の受け入れなど、互いの市へ頻りに訪問することで、積極的な情報交換や文化交流が図られています。

9月に開催されたイングリッシュスピーチコンテストや1月のオーストラリアデー(オーストラリアの建国を祝う)などのイベントは、マッカイ市との交流がきっかけで始まりました。互いの文化を紹介しあい、互いのまちのことを知ることが国際交流の第一歩です。

オーストラリアやマッカイ市のことを知ってもっと身近に感じてみませんか?